

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●田辺裕信騎手がJRA通算1200勝を達成

3月1日(土)の2回中山1日・第9レースとして行われた水仙賞ではエーオーキングが1着となり、同馬に騎乗した田辺裕信騎手(美浦・フリー)は、史上33人目・現役17人目となるJRA通算1200勝(1万3717戦目)を達成しました。

●辻野泰之調教師がJRA通算100勝を達成

3月2日(日)の1回阪神2日・第8レースではブリックワークが1着となり、同馬を管理する辻野泰之調教師(栗東)は、現役148人目となるJRA通算100勝(延べ878頭目)を達成しました。

●丹内祐次騎手が春の小倉リーディングに輝く

3月2日(日)をもって1回小倉競馬が終了し、17勝をあげた丹内祐次騎手(美浦・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。

●調教師8名が引退、9名が新規開業

3月4日(火)付で、美浦では石毛善彦調教師(JRA通算5533戦250勝)と宗像義忠調教師(JRA通算8041戦671勝)、栗東では音無秀孝調教師(JRA通算8757戦996勝)、河内洋調教師(JRA通算4826戦385勝)、木原一良調教師(JRA通算5663戦353勝)、鮫島一歩調教師(JRA通算7229戦591勝)、藤沢則雄調教師(JRA通算5395戦303勝)、村山明調教師(JRA通算4481戦308勝)が引退しました。これにともない、美浦では浅利英明調教師、田中勝春調教師、柄崎将寿調教師、栗東では秋山真一郎調教師、井上智史調教師、加藤公太調教師、佐藤悠太調教師、東田明士調教師、前川恭子調教師、以上9名が3月5日(水)付で新規開業しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●兵庫若駒賞(姫路)は無敗馬オケマル[各地の主要3歳重賞]

2歳戦から3歳戦に変更となった兵庫若駒賞(3月6日、姫路、1800m)は、差のない2番手追走から4コーナー手前で先頭に立った重賞2勝馬オケマル(牡、父ニューイヤーズデイ)が2着馬に2秒1の大差を付け、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えてデビュー以来の連勝を5に伸ばしました。ユングフラウ賞(2月24日、浦和、1400m、牝馬)は、5番手から直線に入って間もなく抜け出した2番人気のブラウドフレール(父ニューイヤーズデイ)が、東京2歳優駿牝馬に続く重賞2連勝。ジュニアグローリー(3月6日、笠松、1400m)は、2番手を進んだ2番人気の北海道から笠松への移籍馬ミランミラン(牡、父ニシケンモノノフ)が、4コーナーで逃げ馬を交わして4馬身差で楽勝、初の重賞制覇を果たしています。

●3月12日のダイオライト記念で連覇を狙うセラフィックコール

ダイオライト記念(JpnⅡ、3月12日、船橋、2400m)は、昨年4馬身差で圧勝したセラフィックコールが中心、アウトレンジと牝馬グランプリッジが続き、以下メイショウフンジン、大井に移籍したディクテオン、キリンジ(大井)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ドバイのスーパーサタデー〜アメリカンステージがG3で2着

サラブレッドによる重賞が6つ組まれたスーパーサタデーが現地3月1日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われ、G3マハブアルシマール(3歳上、ダート1200m)にO.マーフィー騎手とのコンビで挑んだアメリカンステージ(牡3歳、栗東・矢作芳人厩舎)が5.17馬身差2着に入りました。勝ったのはT.オシエア騎手が騎乗した昨年のG1ドバイゴールデンシャヒーン優勝馬タズ(騾8歳、父オックスボウ、B.シーマー厩舎)で、これで5連勝となりました。なお、G3ブルジュナハール(北半球産4歳上、南半球産3歳上、ダート1600m)に出走したテオオーサンドニ(牡6歳、栗東・高柳大輔厩舎)は14着に終わっています。

●G1サンタアニタH〜ロックドがレース史上最大着差で圧勝

3月1日にアメリカ・カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたG1サンタアニタH(4歳上、ダート2000m)はJ.オルティス騎手が手綱を取ったロックド(牡4歳、父ガンランナー、T.プレッチャー厩舎)が中国追走から直線入り口で先頭に立つと、3年前のこのレースの勝ち馬エクスペストレインにレース史上最大着差となる8馬身半差をつけて圧勝しました。勝ったロックドは2歳10月のG1ブリーダーズフューチュリティ(ダート1700m)で重賞初制覇。昨年は左前肢の靱帯を痛めたことで休養期間が長くなりましたが、復帰戦となった10月の条件戦(ダート1400m)と12月のG2シガーマイルH(ダート1600m)を連勝してシーズンを終了。今季初戦となった1月の前走G1ペガサスワールドC2着からここに臨んでいました。